

きくきりもんまきえてばこ  
菊桐紋蒔絵手箱

縦30.3×横20.5×高さ17.1㍍、  
桃山時代(16世紀末)



清正公400年遠忌記念

加藤清正と本妙寺の至宝展

③

## 秀吉からの拝領物

本妙寺には、清正が秀吉から拝領したと伝えられる菊桐紋蒔絵と桔梗折墨紋蒔絵の二系統の美しい漆器類があるが、その伝承は専門家の間でも肯定的にみられている。

この手箱は大変優れた菊桐紋蒔絵の技法から、伝承どおり秀吉からの拝領物に間違いないとみられている。

これらは天正16年閏5月(1588・清正27歳)「国衆一揆」鎮圧の後、3千石の物頭役から肥後半国19万5千石の大名として熊本に入るにあたって、先の島津攻めで失策を犯し秀吉の勘

（熊本日韓文化交流研究会 会長 大倉隆二）

※同展は15～21日、熊本市の鶴屋百貨店東館7階ホールで。